

あなたの町の国有林

大分南部流域における森林管理署の取組



アケボノツツジ



傾山

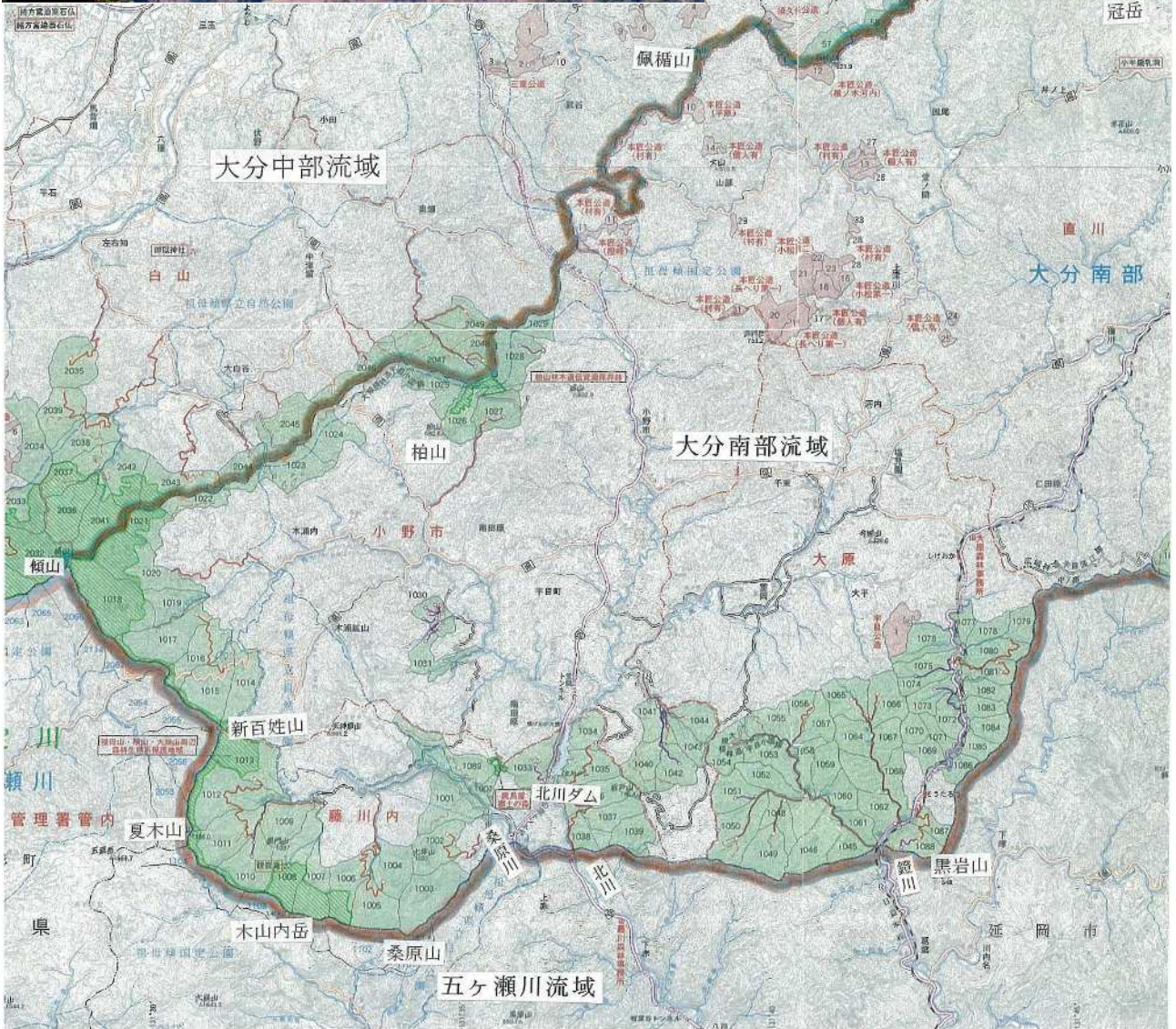


九州森林管理局
大分森林管理署

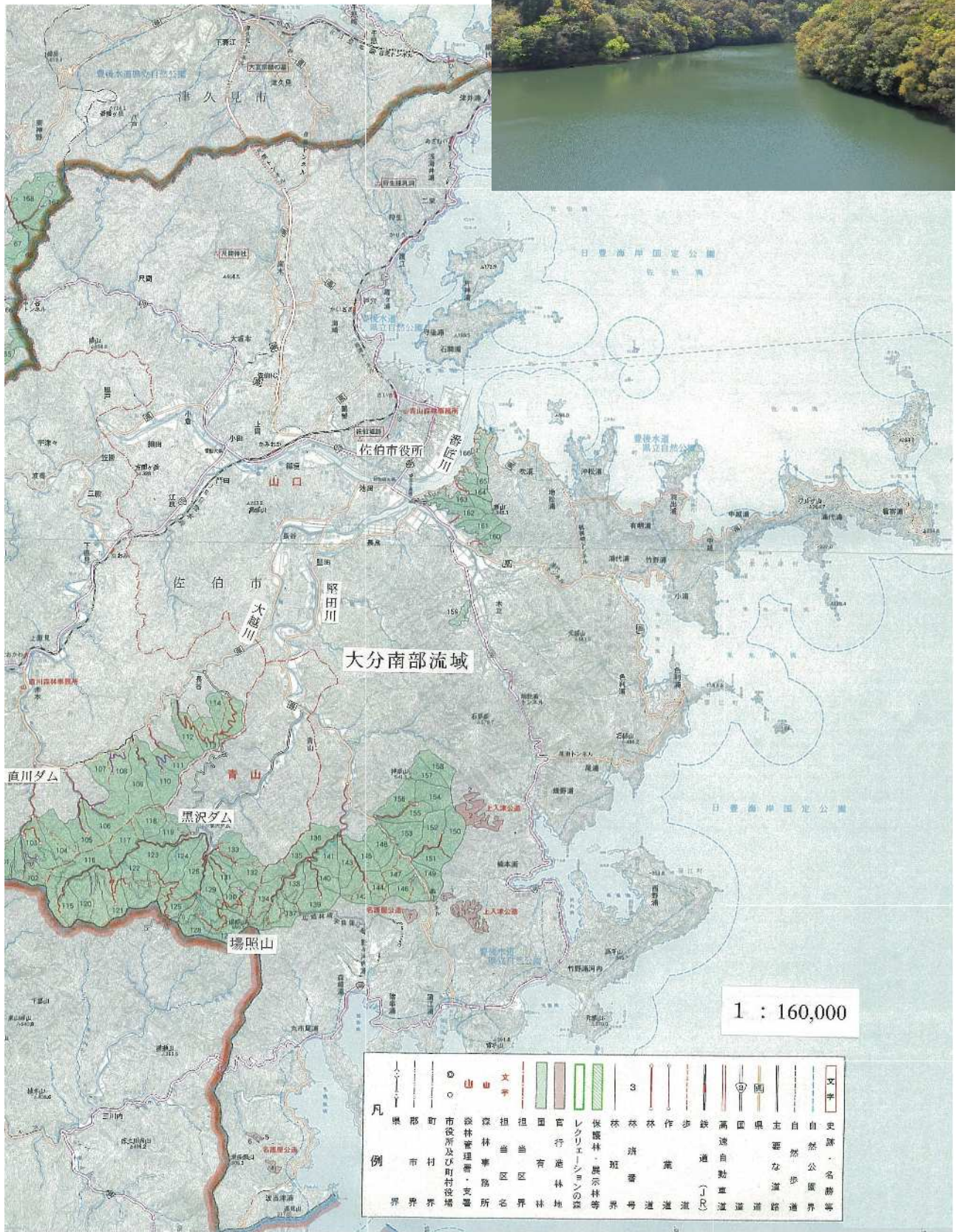
大分南部流域の位置図



木浦方面から望む傾山



黒沢ダムに隣接する青山国有林



大分南部流域の概要



自然的・社会経済的背景

1 位置及び面積

大分南部流域は、大分県の南部に位置し、佐伯市1市（平成17年3月に1市5町3村が合併）でなる総面積90,311haの地域で、大分県総面積634,073haの約14%を占めています。そのうち森林面積は78,757haで、流域総面積の約87%を占めています。

2 地勢

流域の西端に主峰の傾山(1,602m)がそびえ、東へ夏木山(1,386m)、桑原山(1,408m)、黒岩山(548m)、場照山(661m)、陣ヶ峰(431m)を経て日向灘に通じる山脈と、北東へ三国峠(590m)、佩楯山(754m)、冠岳(617m)、彦岳(639m)を経て四浦半島に至る山脈が横たわり、傾山周辺は急峻となっています。

河川は、これら山脈に源を発する大小無数の溪流が集まって番匠川、堅田川、北川などとなって、豊後水道、日向灘に注いでいます。

3 人口

人口は70,347人で（佐伯市HPの令和2年3月末現在）、大分県全体の約6%です。

就業人口は（国勢調査平成27年度版）31,506で、産業別内訳は第一次産業が2,864人で9%、第二次産業が8,317人で26%、第三次産業が20,325人で65%、第一次産業の内訳は農業が1,334人、林業が315人、水産業が1,215人となっています。

4 交通網

本流域内をJR日豊本線が南北に走り、幹線道路として国道10号のほか、217号、326号、388号が各地域を結んでいます。また、高速交通体系を担う東九州自動車道が佐伯から県境間は平成26年に開通した。



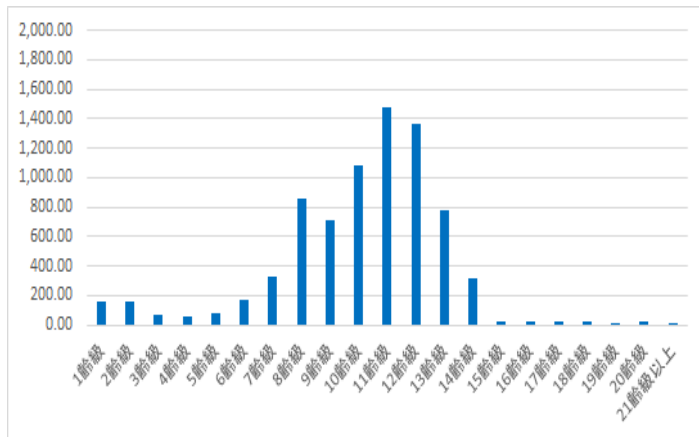
佐伯市城山から望む大江灘国有林



国有林の概況

面積 国有林の面積は 13,799ha で、流域の森林面積の 18% を占めています。そのうち人工林面積は 7,748ha（人工林率 56%）で、天然林面積は 5,656ha です。人工林の林齢別面積は下表のとおりとなっていて、IX 齢級以上の人工林は 76% を占めています。

人工林の齢級別面積



スギ人工林（赤木谷国有林）

樹種 主な樹種は、人工林はスギ、ヒノキ、アカマツ、クヌギで、天然林はカシ類、シイ類、イスノキ、タブノキ、イタヤカエデ、モミ、ブナです。

蓄積 立木の蓄積（体積）の概数は、人工林が 268 万 m³（1ha 当たり 348m³）、天然林が 115 万 m³（1ha 当たり 203m³）、合わせて 383 万 m³（1ha 当たり 287m³）です。

制限林 制限林（法律等により伐採等が制限されている森林）が 98% で、普通林（制限されていない森林）が 2% です。制限林の 98% は保安林で、そのうち 99% は水源涵養保安林です。また、傾山周辺は祖母傾国定公園に指定されるとともに、祖母山・傾山・大崩山森林生態系保護地域(注1)に指定されていて、保安林と重複して制限されています。



ヒノキ人工林（赤木谷国有林）

公有林野等官行造林地

上記のほかに、公有林野等官行造林地(注2)が、508ha あります。

(注1) 森林生態系保護地域は、保護林（貴重な森林を保護するために設定された区域）の一つで、原始的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に資することを目的として、日本の主要な森林帯を代表する原始的天然林が 1,000ha 以上ある区域などが指定されています。

(注2) 公有林野等官行造林地は、市町村所有や共同利用等の林地に、契約によって国が造林しているところです。伐採時に販売代金を割合に応じて分取します。なお、この制度を定めた法律は昭和 36 年に廃止され、それ以前に契約したところが現存しています。



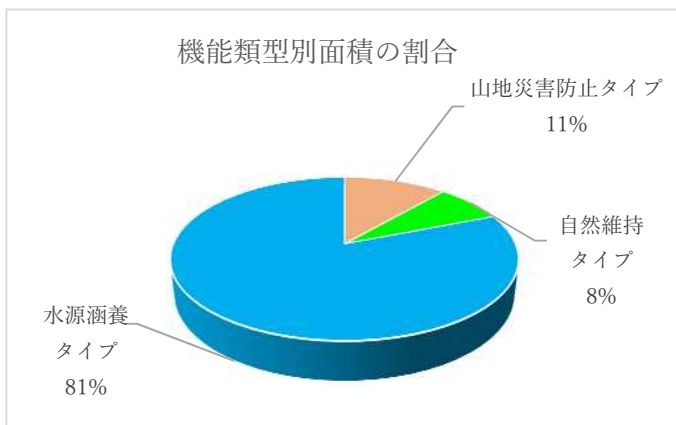
森林管理署の取り組み

本流域の国有林は、大分森林管理署が管理経営しています。流域内を青山、山口、直川、大原、藤川内、小野市の担当区に区分して、青山、直川、大原、藤川内に森林事務所を設置しています。森林官は、地域の方々からの問い合わせなどの対応や、国有林の管理経営に関する現場業務を担っています。

農林水産省 — 林野庁 — 九州森林管理局 — 大分森林管理署 — 森林事務所

1 公益重視の管理経営の一層の推進

国有林の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進することとし、個々の国有林を重視すべき機能に応じて、「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」、「水源涵養タイプ」に区分し、公益林として適切な施業を推進することとしています。



水源涵養タイプ（北川ダム湖に隣接する小日平国有林）

● 山地災害防止タイプ

災害に強い国土基盤を形成する観点から、山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とする森林です。

● 自然維持タイプ

生態系としての森林の重要性を踏まえた観点から、原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林です。

● 森林空間利用タイプ【大分南部森林計画区では該当なし】

国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成する観点から、保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林です。（本流域内でこのタイプに区分した国有林はありません。）

● 快適環境形成タイプ【大分南部森林計画区では該当なし】

騒音、粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する観点から、快適環境形成機能の発揮を第一とする森林です。（本流域内でこのタイプに区分した国有林はありません。）

● 水源涵養タイプ

良質な水の安定供給を確保する観点から、水源涵養機能の発揮を第一とする森林です。

2 森林・林業の再生に向けた貢献

民有林の関係者と連携して推進する森林の流域管理システムの下、県、市町村等との密接な連携を図りながら、森林・林業の再生に貢献していくため、組織・技術力・資源を活用し、民有林の経営に対する支援等に積極的に取り組むこととしています。

具体的には、低コストで効率的な作業システムの普及や技術向上のための検討会を、県、市町村、森林組合、林業事業体等参加の下に開催しています。また、地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や低コスト化が図られる区域については、森林整備推進協定を締結して森林共同施業団地を設定し、民有林と連携した路網の整備と相互利用の推進、計画的な間伐等の実施などに取り組んでいます。民有林も含めた間伐の推進に寄与できるようにするため、各種の間伐方法が比較検討できる間伐展示林を設定し、民有林関係者の研修の場等として提供もしています。更には、市町村の森林・林業行政の支援ができるようにするため、フォレスター等の育成も行っています。



森林整備推進協定運営会議の様子



森林共同施業団地に通じる林業専用道復旧事業

3 国民の^{もり}森林としての管理経営

国民共通の財産である国有林を「国民の^{もり}森林」と位置づけ、国民に開かれた管理経営を推進することとしています。

具体的には、森林・林業に関する情報提供や普及に努めるとともに、地域管理経営計画策定時等に国民の皆様の意見を伺っています。また、多様で豊かな自然環境等を活用しつつ、森林環境教育の推進、森林とのふれあいの場の提供、国民参加の森林づくり等の要請にお応えするようにしています。

4 地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化は、温室効果ガスが原因で、その中でも二酸化炭素の増加が大きな原因であると言われています。森林は、空気中の二酸化炭素を吸収し、炭素として体の中に貯えることから、地球温暖化の防止に役立ちます。このため、二酸化炭素の吸収・固定に貢献する健全な森林の整備・保全や、木材利用等の推進に率先して取り組むこととしています。

5 生物多様性の保全

国有林は主に脊梁山地にあり、生物多様性の保全を図る上で重要な位置を占めていることから、生物多様性保全の役割も十分果たせるよう、森林の健全性を維持・確保していくこととしています。

具体的には、原生的な森林生態系や希少な野生生物が成育・生息する森林については保護林に指定し、モニタリング調査等を行い、適切な保全・管理を推進しています。また、シカが農林業や生態系に多大な被害を与えているため、関係行政機関等と連携しつつ、捕獲による個体数調整や共存に向けた森林の整備を推進しています。



傾山の保護林【森林生態系保護地域】（自然維持タイプ）

6 地域の安全・安心の確保

自然災害によって発生した土砂の流出・崩壊などの復旧やその予防のため、治山ダム設置などの治山工事を行い、山地災害から生命・財産を守る取組を行っています。実施にあたっては、民有林の治山工事と連携するとより効果が発揮される地域については、民有林の治山工事を担当している大分県と連携して事業を実施しています。

なお、治山事業の詳細は、当署のホームページの「治山事業の概要」に掲載しています。



山腹工施工後（大江灘国有林）



治山ダム施工後（傾山国有林）

大分南部流域の国有林のデータ

1 計画事業量（令和2年度～令和6年度までの5年間分）

伐採	区分	主伐	間伐	計
	数量 (m ³)		94,273	401,041
	数量 (ha)		(3,625)	

更新	区分	人工造林	天然更新	計
	数量 (ha)		193	2

保育	区分	下刈	つる切	除伐	計
	数量 (ha)		681	140	192

林道 (林業専用道 を含む)	区分	開設		改良	
		路線数	延長(m)	路線数	延長(m)
	数量	21	19,540	26	15,900

治山	区分	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
	数量	273	137



高性能林業機械による間伐（青山国有林）



森林整備事業【活用型】実施後（三本国有林）



下刈実施後（青山国有林）



林業専用道開設後（柏山国有林）

2 自然公園

種 類	区 分	面 積 (ha)
国定公園 (祖母傾)	特別保護地区	—
	第一種特別地域	3 2 8
	第二種特別地域	—
	第三種特別地域	2,9 3 5
	普通地域	—
	計	3,2 6 3
県立公園 (祖母傾)	普通地域	3 7
	計	3 7
合 計		3,3 0 0

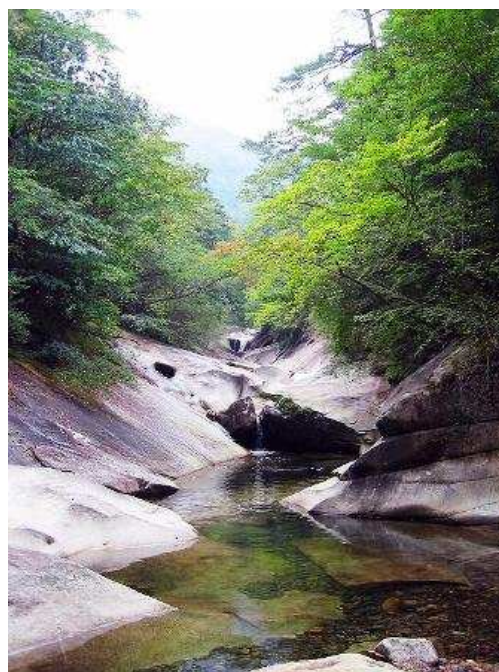
(写真は全て祖母傾国定公園内)



落差 77m の観音滝 (夏木国有林)



アケボノツツジが咲いた傾山(傾山国有林)(撮影：藤田晴一氏)



藤河内溪谷 (夏木国有林に隣接)



夏木山の鋸尾根 (夏木国有林)

3 保護林

種類	名称	面積(ha)	位置	指定理由
森林生態系 保護地域	祖母山・傾 山・大崩山 周辺	710	傾山から木山内岳 までの稜線付近	原始的な天然林が大面積のまと まりをもって存在し、標高1,000 m以上の山地帯には太平洋岸気候 の極相であるブナ林がみられ、標 高700～1,000m付近にはアラカシ 、ウラジロガシ等の常緑広葉樹林 がみられ、非常に貴重な森林とな っていることから、この森林を保 存することにより、自然環境の維 持、動植物の保護、遺伝資源の保 存、学術参考等に役立てるととも に、後世に引き継ぐため。
希少個体群 保護林	柏山	33	柏山の稜線付近	樹齢120年生前後、胸高直径1m ・樹高30mを越える日向アカマツ の天然林となっていることから、 その保存のため。



柏山林木遺伝子保存林の日向アカマツ



大分森林管理署（令和2年4月撮影）



大分森林管理署案内図（西大分駅から大分森林管理署まで1.1km）

局・署・森林事務所の所在地等

名称	所在地	電話・FAX番号	
九州森林管理局	〒860-0081 熊本市京町本丁2番7号	電話	096-328-3500
		FAX	096-355-3891
大分森林管理署	〒870-0005 大分市王子北町3-46	電話	097-532-9281
		FAX	097-532-2357
青山森林事務所	〒876-0851 佐伯市常磐東町8-5	電話	0972 - 24 - 0125
		FAX	同上
直川森林事務所	〒879-3101 佐伯市直川大字赤木580	電話	0972 - 58 - 2032
		FAX	同上
大原森林事務所	〒879-3201 佐伯市宇目大字大平2073-2	電話	0972 - 53 - 2102
		FAX	同上
藤川内森林事務所	〒889-0101 延岡市北川町川内名9212	電話	0982 - 46 - 3618
		FAX	同上